令和7年4月 第1回定例庁議

- 1 開催日時 令和7年4月2日（水）午前9時30分～午前10時30分
- 2 開催場所 4階特別会議室
- 3 付議事項（第6条）

(1) 指示事項（市長の指示、注意等）

旧年度においては、職員の皆さんの尽力により充実した1年を過ごすことができました。お礼申し上げます。

新年度を迎え、新規採用職員や人事異動など新しい体制での業務がスタートする。環境の変化により、気持ちが減入ったり緩んだりする時期であるため、幹部の皆さんが所属職員の精神面に十分に配慮いただき、健康状態に支障が出ないようにお願いしたい。

(2) 審議事項（市行政運営の基本方針、総合計画、重要議案、主要事業計画等の策定及び調整に関すること）

なし

(3) 報告事項（市政に重大な影響を与える法令等の制定改廃、国及び県の動向、又は重要な事務事業の進行状況に関すること）

①福祉避難所設置運営マニュアルの作成について（健康福祉部福祉課長）

協定の上で設置している福祉避難所について、運営方法についてマニュアル化したため、概要について報告する。

（資料に基づき説明＝健康福祉部福祉課地域共生社会推進室総括担当長）

・福祉避難所を必要とする要配慮者や市議会などへどのように周知するのか。（副市長）

→要配慮者に直接周知するのではなく、その支援に携わる自主防災会やコミュニティ等へ、マニュアルの配布に合わせて説明していくとともに、市民全般に向け、HPへの掲載準備を行っている。また、市議会においても庁議終了後に周知する。

②「市民意見・公募委員の募集の手引」について（市長公室長）

当該手引きについて、見直しを行ったため報告する。

（資料に基づき説明＝市長公室政策課副課長）

・公募委員の募集状況が芳しくないから修正するのか。（モーターボート競走事業管理者）

→募集はオンライン申請等による応募方法の改善により、一定程度は確保できているが、審議会の性質等に応じて臨機応変に対応できるよう手引きを修正するものである。（政策課副課長）

・作文を任意にする理由は何か。（モーターボート競走事業管理者）

→応募用紙には、応募動機の記載により応募者の熱意等が読み取ることができる。よって、追加項目となる作文については、より良い選考ができるよう担当課で検討していただきたい。

4 その他

① 第 11 期若手職員まちづくり研究チームの活動報告「通年輕装化について」（研究チーム）

研究テーマである通年輕装化に向けた指針、ガイドラインについて報告する。
（資料に基づき説明）

- ・沖縄県職員のかりゆし着用など、自治体においても輕装化が進んでいるので、今回のアンケート結果を踏まえ、実装に向け進めていきたい。（市長）
- ・想定していたとおりの研究結果をまとめていただき、お礼申し上げる。輕装の基準については、市民に不快感がないような社会通念上の判断となるが、相手と信頼関係を構築できる服装をしているかを自身の目線で考えることが重要である。細かい服装の可否は、都度検討すればよい。（副市長）
- ・5月1日（木）開始予定のクールビズに合わせて、マニュアルを作成する。（政策課副課長）

② 新年度予算の執行について（総務部長）

令和7年度予算について、執行段階においても各自、事業の見直しや工夫により予算の節減に努めていただくよう全庁に依頼したところである。財源不足を補うための基金の取り崩しについては、中期財政フレームでの想定を上回るペースとなっており、数年後には枯渇することが見込まれる。財政当局が持っている危機意識を全職員に伝わるように共有していただきたい。

③ 少額随意契約の基準額の見直しについて（総務部長）

地方自治法の改正により、本市契約規則、職務権限規程の改正を行った。課長決裁による施行決定、庶務課での入札など十分確認の上、適正な執行をお願いする。

④ 定期監査の結果の講じた措置について（総務部長）

定期監査の指摘事項、意見への対応について、庶務課まで提出をお願いする。

また、結果報告書では、共通指摘事項では、受付押印漏れ、消せるペン、修正ペン等による字句の修正など、毎年同じ内容での指摘が繰り返されている。各部署においてこのような内容が見受けられた場合は、一旦差戻を行い修正するなど、管理職の段階で精査をお願いする。

・指摘事項については、各職場の全員が把握するよう注意喚起をお願いする。また、起案の段階で議決の有無の記載をしていないなどの指摘があった内容については、保存データも必ず修正するよう徹底していただきたい（副市長）

・議決の要否は、委託契約等の判断を必要としない場合も含めて、全ての施行伺に記載すること。（総務部長）

⑤ 新人議員への研修会について（議会事務局長）

5月に予定する新人議員研修会の日程調整について、庁内メールで依頼するので調整についてお願いする。

⑥ メール誤送信について（市長公室長）

外部メールで複数人に一斉送信する際に、本来「BCC」で送信すべきところを、全員の氏名、メールアドレスが可視できる「TO」の状態を送信する情報セキュリティ事故があった。関係者には当該メールの削除依頼とお詫びを行った。新しいグループウェアでの不慣れな中でも、特に外部の個人に宛てるメール等については、複数人で確認するなど、周知、徹底していただきたい。また、新規採用職員にも同様に周知し、全庁ポータルのマニュアルを活用するなど、慎重に作業を進めていただきたい。

⑦ 市制施行 20 周年用バックボードの使用について（市長公室長）

新たに折り畳み可動式のものを作成したので、特別会議室以外の他の場所での活用についても検討していただきたい。使用の際は、秘書課へ依頼をお願いする。

⑧ 愛媛県の山林火災について（ボートレース事業局次長）

3月下旬の今治市の山林火災について、ボートレースチケットショップ朝倉の近隣に避難指示が出たため、3月24日(月)から営業を停止し、3月28日(金)にほぼ鎮火したため翌日から営業を再開した。今後、交流のある都市として支援、協力してまいりたい。

・今治市長へ2回電話でお見舞い申し上げ、また緊急消防援助隊出動へのお礼の電話をいただいた。（市長）

⑨ 愛媛県の山林火災について（消防長）

消防庁長官から緊急消防援助隊の要請を受け、香川県隊が3月25日(火)から出動した。本市からは、職員7名、車両3台が出発し、31日(月)までの一週間、延べ21人が消火活動に従事した。香川県隊としては、車両は22台、人員は一週間で延べ209名に従事した。

5 副市長から

新年度、新たな体制での庁議となり、職場でも異動や新規採用職員の新しい仲間が増えた。特に新規採用職員には、目配りと心配りで、みんなでサポートする職場の環境づくりをお願いする。

6 教育長から

新年度に入り、4月7日(月)の始業式から順次入学式、入園式が執り行われる。また、広島小中学校の再開校式を4月10日(木)に予定しており、中学生1人、小学5年生1人、小学2年生2人と教職員7名でスタートする。新年度についても、引き続きご協力をお願いする。

7 モーターボート競走事業管理者から

5月27日(火)からSGレースが開催される準備を進めているのでご協力をお願いする。

昨今、オンラインカジノが社会的に問題となっているが、インターネットを通じて気軽に目に触れる場面があるなど大変危険である。日本では違法であるという認識のもと、職員においても、決して手を出さないよう改めて注意していただきたい。

8 出席状況

(1) 庁議構成者（第5条）

職	氏名	出欠
市長	松永 恭二	○
副市長	横田 拓也	○
教育長	末澤 康彦	○
モーターボート 競走事業管理者	大林 諭	○
市長公室長	栗山 佳子	○
総務部長	七座 武史	○
健康福祉部長	谷本 智子	○
協働推進部長	田中 壽紀	○
都市整備部長	伊藤 秀俊	○
産業生活部長	平尾 聖	○
ボートレース 事業局次長	富士川 貴	○
教育部長	窪田 徹也	○
消防長	宮脇 淳	○
議会事務局長	奥田 孝彦	○

(2) 関係職員（第9条）

市長公室秘書課長	塩田 佳代
市長公室職員課長	津村 潤一郎
総務部財務課長	高倉 鋭悟
健康福祉部福祉課長	近藤 武司
健康福祉部福祉課	
地域共生社会推進室総括担当長	万谷 幸

(3) 事務局（市長公室政策課）

市長公室政策課副課長	藤井 慶子
市長公室政策課主査	大川 智
市長公室政策課主査	佐野 大介